

もしも…のときもくらしに寄り添って

組合員どうし少しずつお金を出し合い、困ったときは助け合おうとできたのが、コープ共済《たすけあい》。これまでにたくさんの方のたすけあいの輪が広がり、組合員の声にこたえて内容もより充実したものとなってきました。そして今年9月、女性コースが改定されます。どんな病気でも、女性が入院するというのは、たいへんなこと。病気をした本人はもちろん、家族や家計にも大きな影響がでます。そんな「もしも…」のときのくらしに寄り添う、女性の声でできた、女性のための保障です。

私の支えになったのは…
「家族の思いやり」と
「お守りがわりの共済」



病気やけがは、ある日突然やってくるものですが、つい忘れがちなのが女性の保障。働き盛りの女性や、子育て中のお母さんに万が一のことがあるとうんざりなことに困るのか、組合員の体験を聞きながら、「もしものとき」の備えを考えてみませんか。

「まさか…」が現実に「乳がん」の告知

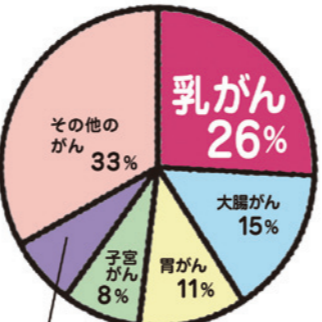
「乳がんですね」——胸のしこりが気になっていたAさんが、行政の乳がん検診を受診して、がん告知を受けたのは35歳のとき。落ち込む間もなく、精密検査・入院・手術をおこないました。

「がんを告知されて、最初は頭が真っ白になりました。でも子どもたちのことが浮かんできて、がんばらなきゃ、って思ったんです。乳がんは早期発見によって治療率が上がる数少ないがんのひとつ。幸い、術後の経過が良かったAさんは、「ご自身の体験をもとに、周囲に、日頃のセルフチェックや、乳がん検診の重要性と、受診をすすめているんです。」

治療率を決める早期発見

現在も、投薬治療をおこなうAさん。「手術後も通院や服薬を5年ほど続けます」と話すとおり、がん手術を終えても、長期間の通院治療が必要です。

女性の悪性新生物患者数の割合



肺・気管のがん7%
出典：厚生労働省「悪性新生物（平成20年）【新患者数（性・年齢階級×癌別分類）】より」
※悪性新生物のみ抽出して割合を算出しました。
※大腸がんには結腸・直腸・S状結腸等の悪性新生物をまとめています。
※子宮がんには子宮頸部・子宮体部等の悪性新生物をまとめています。

恵那店でお買い物をするAさん
取材スタッフにも笑顔で「検診してますか？大事ですよ」とすすめてくださいました。

教えて 乳がんのこと

女性のがん患者の4人に1人が乳がん。しかし定期的な自己検診が早期発見につながります。あわせて定期健診をうけることで、早期発見・治療につながります。乳がんにかかる率を年齢でみると、30代から増加し、40代後半～50代にかけてピークに達します。女性特有のがんは、子育て中や働く世代など、比較的若い世代で注意が必要です。



「子どもと一緒に、お守りがわりに加入し私も、自宅から車で50分の距離。闘病生活には、思いもかけないことがたくさんありました。」

お守りがわりのコープ共済

「通院治療の日々が続きますが、がんばれるのは、家族の支え、そして共済金の支えがあったこと。今後の治療に専念できることに、本当に感謝しています。」
また、「この秋、女性コースの保障内容がよくなること。女性が入院すると、子どものお迎えや家族の食事など、だれかにお願いしなくてはいけないことがたくさんあり、お金もかかります。どんな病気でも入院してもお金の心配は一緒ですから、助かりますね。」と締めくくりました。

わたしが病気に!? くらしはどう変わる?

治療費以外にもこんな出費が…

●子どもたちのようすも気になるわ



くらしすけあいの会に依頼
(1時間 1,000円×2)×7日間
保育園の送迎 …… 14,000円
留守番 入院中毎日+退院後1日 2時間 …… 16,000円

●食事をちゃんととってるかしら



食事の宅配を頼む お弁当2つ
(1食 538円×2名)×10日間分 …… 10,760円
外食 (3,000円×2日) …… 6,000円

●仕事もお休みしないとイケないわ



収入の減少 … 128,000円
1日 3,200円のパートを2ヶ月休職
※組合員Aさんのお話をもとに、コープぎふで試算

乳がん検診を受けましょう

組合員さんからの声

手術をしてから、もう3年4カ月が過ぎました。悪性腫瘍を早期発見できたこと、良き先生と出会えたことが、今でも生き残っていることだと思います。日本人は欧米人に比べ、がん検診はあまりやらないと聞きますが、2年に1度は検診をお勧めします。早く発見できれば、治療への負担も家族への負担も自分への負担も減ると思います。自治体や会社でやっている検診なら、安くできるとあります。「まだ私は大丈夫…」ではなく、ちょっと受けてみようかなと考えて下さい。

あなたのミカタに

女性特定病気であるかに関わらず入院保障は必要ですよ。今回のコープ共済《たすけあい》女性コースの改定は、ベースである入院保障日額が増えて、女性特定病気での入院の合計日額はそのまま。掛金も上がらず、すでに加入している人も同じように保障内容が良くなる、まさに女性の味方の心強い保障になりましたね。さすが生協の《たすけあい》です。



LPA (ライフプランアドバイザー) の会
山口さん 岩本さん 中村さん

L2000円コースの場合で比較してみると

病気になる・事故(ケガ)入院 (1日目から184日分)	《現在》	《9月1日から》
	日額 3,000円	日額 5,000円
女性特定病気入院 (1日目から184日分)	《現在》	《9月1日から》
	日額 5,000円	日額 3,000円

※女性特定病気入院の場合はこれまでと変わらず日額 8,000円です。
※入院日額の増額は、2012年9月1日以降に入院を開始した場合に適用となります。詳しい保障内容は加入申込書付宣伝物をご覧ください。

コープ共済《たすけあい》女性コースがよくなります

今回の改定は、「女性特定病気」以外で入院したときも保障を充実してほしい」という声にこたえて、通常の【病気になる・ケガ】の入院日額が2,000円アップされることになりました。たとえば、《たすけあい》L2000円コースの場合だと、通常の入院保障が日額3,000円⇒日額5,000円となります。(女性特定病気でも入院された場合について日額の合計は変更がなく日額8,000円です。) 既にご加入いただいている方については、2012年9月1日より健康状態に関係なく、自動的に保障内容が良くなります。

コープ共済《たすけあい》

《問合せ》生活協同組合コープぎふ 〒509-0197 各務ヶ原市鶏沼各務ヶ原1-4-1 共済事務センター
CO・OP共済へのご加入/保障内容のお問合せご相談は
▶コープ共済センター 9:00～18:00 (日曜定休) ☎0120-161-913

CO・OP共済は個人情報大切に、個人情報保護法を守ります。
下記のコープ共済ホームページでも紹介しています。
http://coopkyosai.coop
契約引受団体 / 《たすけあい》日本コープ共済生活協同組合連合会